



2019年3月27日

各 位

会社名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 船橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

当社関連会社の医化学創薬株式会社における LC-MS 装置を利用した受託解析サービス開始に関するお知らせ

当社関連会社の[医化学創薬株式会社](#)（代表取締役社長：伊藤勝彦、札幌市 以下、医化学創薬）は、この度、質量分析装置^{*1}LC-MS^{*2}を利用した受託解析を開始いたしますので、お知らせいたします。

医化学創薬と幅広い科学的分析ツールを提供する[株式会社エービー・サイエックス](#)（代表取締役社長：イネス・ローウェンスタイン、東京都品川区、以下、エービー・サイエックス社）は、同社の LC-MS 装置「SCIEX TripleTOF[®] 6600 SYSTEM」(下図)を利用した新規糖鎖解析技術の確立を目的として共同研究契約を締結しております ([2018年12月20日リリース](#))。このたび開始するサービスは、当該共同研究の成果です。

医化学創薬における解析システムは、当該質量分析装置と前段に LC 装置である ExionLC[™] AC を接続しており、当該 LC 装置は 9500 psi の耐圧性能を有することから、様々な UHPLC^{*3} メソッドに対応することが可能です。また、TripleTOF[®] 6600 SYSTEM は高分解能 TOF MS/MS モードの機能を有していることから、ターゲット非選択、すなわち包括的な定量を行うことが可能となっています。以上の装置特性を活かして、低分子から高分子にいたる様々な物質を解析対象として、お客様のニーズに合わせた試験デザイン、解析サービスをご提供いたします。



SCIEX TripleTOF[®] 6600 SYSTEM

当社グループは、既に株式会社新薬リサーチセンター、安評センターにおいても LC-MS 装置を利用した解析サービスを実施しており、医化学創薬でのサービス開始により付加価値の高いサービス提供が可能なグループ体制を実現いたします。

本サービス開始による 2019 年 3 月期の当社連結業績への影響はございません。また、本サービス開始が 2020 年 3 月期の当社連結業績に与える影響につきましては、2019 年 3 月期の決算発表と合わせて公表予定の 2020 年 3 月期の連結業績予想に織り込む予定です。

◆ご参考：

※1 質量分析装置

質量分析法装置は、様々な方法のイオン化法で物質を原子・分子レベルの微細なイオンにし、その質量数と数を測定することにより、物質の特定や定量を行う装置です。

※2 LC-MS (Liquid Chromatography Mass Spectrometry)

LC-MS 装置は、高速液体クロマトグラフ法 (HPLC) の一種に分類され、液体中の成分を固定相と移動相の相互作用の差を用いて分離し、質量検出器で検出する方法です。

※3 UHPLC

UHPLC とは、超高速液体クロマトグラフィーのことです。液体の移動相をポンプなどによって加圧してカラムを通過させ、分析種を固定相及び移動相との相互作用（吸着、分配、イオン交換、サイズ排除など）の差を利用して高性能に分離して検出する方法です。粒子径 $2\mu\text{m}$ 以下という高性能充填剤が開発され、従来の $1/5\sim 1/10$ という短時間で高分離が得られるようになったものです。

以上